

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	笠岡陸上競技場			所在地	笠岡市平成町63番地の2			
敷地面積	124,000.00 m ²			棟数	4 棟 (計画記載対象 1 棟)			
延床面積	1,635.99 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象			
設置目的	陸上競技等のスポーツ、レクリエーションその他多様な活動の場を提供することにより、県民の交流と心身の健全な発達を図る。							
【想定される自然災害】								
予想震度		6弱		津波		3.0m以上4.0m未満	浸水	-
建築規制	非線引都市計画区域、田園居住地区 建ぺい率70%、容積率100%							
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)				
	495,718 kWh	664 m ³	5,737 m ³	10,120 ℓ				
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし							

1 施設内建物の概況

名称	主競技場メインスタンド		
築年(西暦)	2004年		
構造	鉄筋コンクリート造 2階		
建築面積	1,018.39 m ²		
延床面積	1,368.82 m ²		
主要な用途 (室名等)	メインスタンド 548人収容 管理室、会議室、倉庫、トイレ、 更衣室、記録室、放送室、写真判定室等		
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 トラック・フィールド(21,772m ²) サブスタンド(6,507m ² 、約5,350人) 照明設備(2基)		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—	
	中性化 ※3	—	
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の更新・修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
主競技場メインスタンド	<ul style="list-style-type: none"> 劣化が進んでいる設備等の更新・修繕・改修を行う。 日本陸連第2種陸上競技場の公認更新について、必要な改修等を実施する。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等について、順次、更新等を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
主競技場メインスタンド	設備等の大規模改修			トラック改修等 1							
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)							エアコン・給湯器	屋根・外壁	トイレ洋式化	消防設備

4. 概算費用

・総額 2億円(設備更新等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R4.1	「施設全体のスケジュール」の設備等の定期更新のスケジュール変更 ・メインスタンド棟(エアコン、給湯器更新)
R6.1	「施設全体のスケジュール」の設備等の定期更新のスケジュール変更 ・メインスタンド棟(屋根・外壁更新、トイレ洋式化)